

# 医療系重要テーマ

～小論・面接対策～

# 医

# 医療ミス

1999年1月11日横浜市大病院で患者の取り違えて心臓と肺を手術するミスがあった。

→引き継ぐときの確認が不十分だった

～Plus α～

ちょっと前の横浜市大

患者さんが医師と看護師に付き添われて運ばれてくる

手術室担当の看護師が自己紹介

手首に巻かれているバンドからバーコードを読み取る

①パソコンにカルテが表れて、手術室担当の看護師と患者さんを運んできた看護師とでカルテ、診察券の名前、ID番号を読み上げて一致しているかを確認

②患者さんにフルネームを言ってもらう

③足に書かれた名前と診察券の名前の照合

④麻酔をかける前に名前、手術部位を患者さんに聞く。

⑤執刀直前、麻酔科医が名前、ID番号、血液型、執刀医が手術部位、手技を読み上げる

1999年2月11日都立広尾病院で点滴にいれるべき血液凝固防止剤を別患者のために用意した消毒液と間違えるミスがあった

～ポイント～

人間が対象なので間違いが許されない。

仕事内容が流動的（同じ症状でも対応の仕方が違う）

人員不足

→具体的にどうするのか（例）

チームによる二重、三重のチェック体制をつくる

→ゆとりをもって人員を確保する

→ただでさえ人員はふそくしているのに可能か？

情報の公開をする

→どのようなミスが起こってどう対策をとるべきか医療界全体で共有する

→しっかりとした事実把握と原因究明をする

医療裁判

妊婦たらいまわし事件